

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL NEWS

No.M16C-117-0311

**RENESAS TECHNICAL NEWS 「No.M16C-107-0309」の差し替え
M16C/62P、M16C/26、M16C/6K9
ストップモードを使用するときの注意事項**

分	<input type="checkbox"/> ドキュメント正誤表	対	M16C/62P
	<input checked="" type="checkbox"/> 注意事項		
	<input type="checkbox"/> ノウハウ		
類	<input type="checkbox"/> その他	象	

RENESAS TECHNICAL NEWS 「No.M16C-107-0309」に誤記がありましたので訂正します。
訂正した RENESAS TECHNICAL NEWS 「M16C/62P、M16C/26、M16C/6K9 ストップモードを使用するときの注意事項」を「No.M16C-117-0311」と差し替えてください。

訂正内容

『2. 3 「低速モードからストップモードへ移行するときの注意事項」の対策方法』の文章に誤記がありましたので訂正しました。

● 訂正前

または、CM07 ビットを**"1"** (メインクロック) にして、高速モード、中速モードにした後、CM1 レジスタの CM10 ビットを**"1"** (ストップモード) にしてください。

● 訂正後

または、CM07 ビットを**"0"** (メインクロック) にして、高速モード、中速モードにした後、CM1 レジスタの CM10 ビットを**"1"** (ストップモード) にしてください。

RENESAS TECHNICAL NEWS

No.M16C-117-0311

M16C/62P、M16C/26、M16C/6K9

ストップモードを使用するときの注意事項

分	<input type="checkbox"/> ドキュメント正誤表	対	M16C/62P
	<input checked="" type="checkbox"/> 注意事項		M16C/26
	<input type="checkbox"/> ノウハウ		M16C/6K9
類	<input type="checkbox"/> その他	象	

1. 注意事項

ストップモードを使用する場合、次の3点に注意してください。

1. 1 電圧低下検出割り込みを使用する場合の注意事項 (注1)

VCR2 レジスタの VC27 ビットを"1" (電圧低下検出回路有効)、D4INT レジスタの D40 ビットを"1" (電圧低下検出割り込み許可)、D41 ビットを"1" (ストップモードからの復帰に電圧低下検出割り込みを使用する) にして、電圧検出回路の電圧低下検出割り込みを使用する場合、VCR1 レジスタの VC13 ビットが"1" ($VCC1 \geq Vdet4$) のとき、CM1 レジスタの CM10 ビットを"1" (ストップモード) にしないでください。

これらの条件でストップモードへ移行するとすぐに電圧低下検出割り込みが発生し、ストップモードから復帰しますが、復帰後のプログラムが正常に実行されない場合があります。

注1、M16C/6K9 は該当しません。

1. 2 NMI 割り込みを使用する場合の注意事項

CM1 レジスタの CM10 ビットを"1" (ストップモード) にしてストップモードに移行した後に NMI 割り込みを発生させないでください。

ストップモードへ移行した後、NMI 割り込みによってストップモードから復帰するとプログラムが正常に実行されない場合があります。

1. 3 低速モードからストップモードへ移行するときの注意事項

CM0 レジスタの CM04 ビットを"1" (サブクロック発振)、CM07 ビットを"1" (サブクロック) の低速モードから、CM1 レジスタの CM10 ビットを"1" (ストップモード) にしないでください。

低速モードからストップモードへ移行した後、割り込みによってストップモードから復帰するとプログラムが正常に実行されない場合があります。

2. 対策方法

2. 1 「電圧低下検出割り込みを使用する場合の注意事項」の対策方法

VCR2 レジスタの VC27 ビットを”1”（電圧低下検出回路有効）、D4INT レジスタの D40 ビットを”1”（電圧低下検出割り込み許可）、D41 ビットを”1”（ストップモードからの復帰に電圧低下検出割り込みを使用する）にして、電圧検出回路の電圧低下検出割り込みを使用する場合、VCR1 レジスタの VC13 ビットが”0”（VCC1<Vdet4）のとき、CM1 レジスタの CM10 ビットを”1”（ストップモード）にしてください。

2. 2 「NMI 割り込みを使用する場合の注意事項」の対策方法

NMI 割り込みをストップモードからの復帰に使用しないでください。

2. 3 「低速モードからストップモードへ移行するときの注意事項」の対策方法

CM0 レジスタの CM05 ビットを”1”（メインクロック停止）にして、低消費電力モードにした後、CM1 レジスタの CM10 ビットを”1”（ストップモード）にしてください。

または、CM07 ビットを”0”（メインクロック）にして、高速モード、中速モードにした後、CM1 レジスタの CM10 ビットを”1”（ストップモード）にしてください。

3. 対象品種

この注意事項の対象品種を示します。記載のない品種はこの注意事項に該当しません。

M16C/62P

対象品種	
フラッシュメモリ版	M30627FHPGP,M30626FHPFP,M30626FHPGP M30625FGPGP,M30624FGPFP,M30624FGPGP M30620FCPFP,M30620FCPGP,M30622F8PFP,M30622F8PGP
マスク ROM 版	M30626MHP-XXXFP,M30626MHP-XXXGP,M30627MHP-XXXGP M30624MHP-XXXFP,M30624MHP-XXXGP,M30625MHP-XXXGP M30622MHP-XXXFP,M30622MHP-XXXGP,M30623MHP-XXXGP M30626MWP-XXXFP,M30626MWP-XXXGP,M30627MWP-XXXGP M30624MWP-XXXFP,M30624MWP-XXXGP,M30625MWP-XXXGP M30624MGP-XXXFP,M30624MGP-XXXGP,M30625MGP-XXXGP

M16C/26

対象品種	
フラッシュメモリ版	M30262F3GP,M30262F4GP,M30262F6GP,M30262F8GP

M16C/6K9（注2）

対象品種	
フラッシュメモリ版	M306K9FCLRP

注2、「電圧低下検出割り込みを使用する場合の注意事項」は該当しません。